



コロナ禍の影響で遅くなりましたが、図書委員会の活動も始まり、以下のように今年度の目標、そして「PANDORA」に載せる「標語」が決定しました。

**目標** 好きな本を好きなだけ読んで目指せ読解力up!!

**標語** 「本を読み 脳に刻め 必ず己の力になる。」

### \*\*\* 今月のブックレビュー \*\*\*

図書委員からのおすすめ本の紹介です。

#### 『薬屋のひとりごと』 日向 夏 (著), しのとうこ (イラスト) (ヒーロー文庫)

薬屋のひとりごとは、2011年頃に発売されたファンタジー小説です。

薬師として働く猫猫(マオマオ)が後宮でおこる様々な事件に次々と巻き込まれていき、薬学の専門知識で事件を解決して行きます。

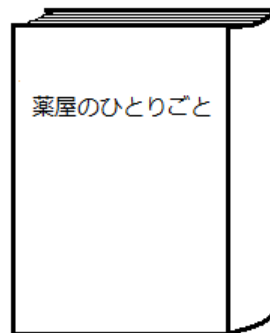
また猫猫(マオマオ)と後宮の宮官である壬申(じんし)とのラブコメストーリーもあり、若い人達からもすごく人気で、最近ではお店の一番大きい所にかざられたりもしています。

小説だけではなく、マンガ化もされていて、マンガの絵柄は二種類あり、2つとも違う良さがあるって、すごく見やすいです。

薬屋のひとりごとは不思議な話でもあるので、自分もこの世界にいるように感じられます。

主人公の猫猫の男らしさというか、しっかりさが私達女心をくすぐります。

1度読めば、全部読みきってしまいたくなると思います。ぜひ読んでみてください!!



#### 『ピンクとグレー』 加藤 シゲアキ (角川文庫)

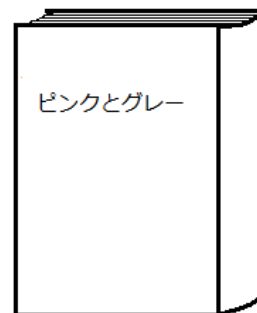
私が紹介する本は加藤シゲアキのデビュー作「ピンクとグレー」です。

なぜ、「ピンクとグレー」を紹介するかというと、「話の展開のスピードとおもしろさ」と「映画化された」「作家が多才である」の3つの理由からです。

まず一つ目の、「話の展開のスピードとおもしろさ」。まず、この話は、大人になった主人公がテレビを見ることから始まります。そこから、子供時代に戻ったり、現代に戻ったり、タイムスリップ感のすごい作品です。

二つ目、「映画化された」。デビュー作品にして、映画化されたことが驚きです。主演は「中島裕翔くん」です。

三つ目、「作家が多才」。まず、加藤シゲアキは「ジャニーズ」「俳優」「脚本家」「タレント」さまざまなメディアで活動され、さらに、ジャニーズ初の小説家としても活動されていて、多才だと思いました。





# 9月のお知らせ



## ①図書館の場所について

図書館の耐震工事が終わって、本館5階に戻って来ました。  
9月14日(月)午前9時から開館しています。

## ②図書館のリニューアルについて

照明はLED電球、新しいエアコンの設置、部屋の配置も変わりました。

# 図書館ご案内

